

夏休みの子ども居場所づくり

・夏休みお楽しみ教室・

今年も西伯文化会館を会場に、夏休みお楽しみ教室を開催しました。陶芸教室（安藤真澄さん指導）、絵画教室（加藤哲英さん指導）、ピーズアークセサリー教室（「七人の小人」さん指導）、フェルト工作教室（「ノームの糸車」さん指導）、花のリース教室（大野恵美子さん指導）、版画教室（牧昭浩さん指導）、親子食育教室（永井志保管理栄養士指導）の7教室に、約150人の子も達が参加



フェルト工作っておもしろいね



めぐみ豆腐のに入ったおだんご作り



まずは版画の勉強から

をして、地域の大人と一緒にものづくりを楽しみました。

はじめは難しいと思ったことも、みんなと一緒だと頑張ることができ、「最後までやり遂げた」という満足感を味わえたようです。来年もぜひ参加したいという感想がたくさんありました。

お世話になった地域の皆さま、本当にありがとうございます。

夏の思い出

ナイトウォーク



まだまだ元気



くたびれた～

8月5日の夜から翌日の早朝にかけて、40人の児童が約20kmの町内ナイトウォークに挑戦しました。南部町子ども育成連絡協議会の主催としては初のナイトウォークということで、町内の小学校を巡るコースが設定され、会見第二小学校をスタートし、会見小学校、西伯小学校を経てゴールのふるさと交流センターまでの道のりを励ましあいながら歩きました。

最終ゴールは午前6時前。「えらい時間もあったけど、励ましあって完歩でき良かったです。」と子どもたち協力スタンプへお礼を言うその顔は、やり遂げた達成感に満ちあふれていました。

先生も豆腐づくり

今年度、町内の3小学校に新採用になった先生達5人が、豆腐作り研修を行いました。

町内の産物や施設に直に触れてもらうことで、南部町への理解や関心を深め、地域の教育素材（人、もの、施設）を学習に活かしていただくことがねらいです。

会見小学校の松本恵先生からは「とても口当たりがよく、大豆の風味豊かなおいしい豆腐でした。子ども達にも本物の味や一丁一丁心を込めて作っておられることに触れさせ、地域に誇りと愛着を持つ子どもを育てていきたいです。」という感想をいただきました。



盆踊り&ふれあいフェスティバル

8月20日、総合福祉センターいこい荘前駐車場で、『盆踊り&ふれあいフェスティバル』が開催され約500人の人でにぎわいました。今年はずいぶん恵まれ、非常に暑い日でしたが、みんなの熱気で更に熱い祭りとなりました。

各団体からの出店も盛況で、特別出演して頂いた、鬼っ子太鼓、東西町子ども銭太鼓、ゴスペルオーブ、さくら会、わかとり会、さくら、ひまわり保育園児も祭りを更に盛り上げてくれました。

締めくくりは県の無形文化財の小松谷盆踊りとバンパ踊りでした。

今年の総踊りでは、たくさんの特賞を抱えて皆さん笑顔で帰られました。



○特別賞の賞品を提供していただいた団体をご紹介させていただきます。ありがとうございます。

鳥取西部農協会見支所・会見果実部、会見郵便局、特産センター野の花、緑水園、西日本メンテック、南部町社会福祉協議会、小松谷盆踊り保存会

(敬称略・順不同)

飛ばしてあそぼうひこうき作り 公民館こども工作きょうしつ

夏休み中盤の8月8日、町立図書館あいみ分室と共催で、小学生を対象に第1回こども工作教室を開催しました。牛乳パックと割りばしを使って飛行機を製作したほか、本の読み聞かせなども行い、公民館・図書室に親しんでもらう、よいきっかけづくりの場となりました。子どもたちは思い思いのイラストを描くなど、オリジナルのひこうき作りに熱心に取り組んでいました。完成後は誰のひこうきがいちばんよく飛ばるか、ひこうきとばし大会を行って飛行距離を競い合い、大いに盛り上がりました。

今後とも季節に合わせたテーマで、工作きょうしつを予定しています。お楽しみに！



ひこうきマスター認定証を手に、みんなでピース！イエ～イ！！

夏をみんなで楽しみました！

上長田地区公民館

7月16日、少し早い夏休み企画として、ボウリング大会を開催しました。保育園児から大人まで、いろいろなフォームでボールを投げ、ストライクが出ると大歓声が上がっていました。ボールがレーンの途中に止まるという珍プレーもあり、和気あいあいといううちに終わることができました。

8月14日、盆踊り大会を行いました。今回は、『笑福踊り会』の皆さんにひよつとこ踊りを演じていただいたり、指導を受けたりしました。子どもたちには好評だったようです。

最後は、花火の打ち上げとともに真夏の夜のひとときを締めくくりました。

